

## 各委員からのご意見・ご提案

	委員からのご意見	ご意見に対する考え方
<b>2. 計画の基本方針</b>		
<b>(3) 中央区における子育て支援についての基本的な考え方</b>		
	「教育の中央区」ならではの計画となるよう、子ども・子育て支援事業計画に関連する計画として「中央区教育振興計画」やその他教育に関わる計画を明記した方が良い。	「中央区教育振興計画」に関連する計画として明記し、本計画との整合性を図りつつ策定します。
	「子育て」「子育て」「親育ち」の3つの観点が見られているが、「子育て」と「親育ち」を1つにまとめて、「地域の支援・サポート」の観点を追加してはどうか。 親としての成長・「親育ち」を強調しすぎると、かえって親自身を追い詰め、孤立させることになるのではという思いがある。 問題を抱え孤立している親と、どのように地域が関係を作って、子育てを支援していくのかという視点を地域で考えていくことが、必要なのではないかと思う。	3つの観点から導き出した方向性を「すべての子どもの健やかな育ちを支援します」「すべての家庭の子育て支援を充実します」「地域の中で、家庭の子育て力を高めていけるよう応援します」と改め、地域全体で子育てを支援していくことをコンセプトのひとつとします。
	現在の案では、「幼児期の教育」に関する部分が見えにくいと感じる。 「福祉」と合わせて「教育」をしっかりと関連させ明記することが、「教育の中央区」らしい、真に子どもの育ちを大切に考えた計画になると思う。 文章を精査し、教育に関わる計画とその内容について記載する方向で検討していただきたい。	「教育・保育の一体的提供」の施策の中で、就学前の子どもに対する教育の質の確保・充実や小学校への円滑な接続を図れるよう取組を展開していきます。
<b>(4) 計画の基本方針</b>		
	基本方針に、働く保護者を支援する視点を入れてほしい。 「仕事をしながら子育てを楽しむ」「子育てをしながら仕事を楽しむ」家庭を、中央区は応援しサポートしているということをもっと前面に出してはどうか。	「すべての家庭の子育て支援を充実します。」という方向性のもと、働く保護者のために保育施設の整備や地域型保育事業の導入などを進めていきます。また、ワーク・ライフ・バランスの視点からも施策を推進していきます。
<b>3. 中央区の乳幼児人口・出生状況及び子ども・子育て支援の現状</b>		
<b>(2) 子ども・子育て支援の現状</b>		
<b>1) 教育・保育施設の現状</b>		
<b>⑤ 区立幼稚園の現状</b>		
	「乳児人口は増加傾向ですが、」という文章の後に「施設的に定員いっぱい園もあり、」というような一文を入れるとより正確だと思う。 「子ども・子育て支援新制度における利用者希望把握調査」の結果からも、区立幼稚園へのニーズ(=幼児期に質の高い教育を受けさせたいという希望)が根強くあるのが中央区の実態であると考えている。 実際、13園中9園で定員を超えて受け入れている学級があり、小学校の教室等を保育室に転用している園もある。 ここ数年、園児数が横ばいである理由の一つに、施設的に受け入れが上限に近い(あるいは超えている)ということがあると考えている。	幼稚園のニーズについては、今後小学校・幼稚園の増改築により保育室を確保する対応を進めています。 計画における確保方策(利用定員枠)についても、この増改築の整備計画を踏まえて設定しており、算出した幼稚園の需要量見込みには対応できるものと見込んでいます。
<b>4. 子ども・子育て支援の取り組み</b>		
<b>(4) 幼児期の学校教育・保育の量の見込みと確保方策</b>		
	新しい保育所の開設にあたっては、待機児解消のための規制緩和や、質より量を優先させることなく、子どもの発達を保障するため十分な人員配置と保育環境を整えた事業者の選定をお願いしたい。 多様な施設の多様な基準により、格差が広がらないよう、各事業所のレベルアップを図るような計画策定を望む。	開設する保育所・事業が認可基準等を遵守し、人員配置や保育環境で不備がないよう確認します。

## 各委員からのご意見・ご提案

		委員からのご意見	ご意見に対する考え方
		<p>保育所の増設に際し、園医の確保が困難になってくると思われるので、その点についても配慮をお願いしたい。</p>	<p>園医の確保については、日本橋医師会、中央区医師会と相談のうえ、進めさせていただきます。</p>
		<p>保育施設の新規開設が増えているが、いずれ児童が減少する事を考えると、学校の空き教室等の利用は考えられないか。区の施設を利用するより、民間が開設した方がコストが低いのか。</p>	<p>今のところ就学児童数も増え続けているため、学校に空き教室等の余裕はないのが現状です。</p>
		<p>量の見込みと確保方策の表について、見た目を工夫して読む人が見る気になるページにしたい。 たとえば「D-A」(確保方策と量の見込みの差分)の行を○で囲むなどしたうえで、各年度各地域で見込みを上回るような確保方策としていることを書いたら良いと思う。</p> <p>あるいは、詳細な表は補足資料としてしまって、本文では以下のページにあるグラフのように表現してはどうか。</p> <p>3. 中央区の乳幼児人口・出生状況及び子ども・子育て支援の現状</p> <p>(2) 子ども・子育て支援の現状 9</p> <p>1) 教育・保育施設の現状</p> <p>③ 保育施設の定員数と待機児童数</p>	<p>見やすくなるようレイアウトや図などを工夫します。</p> <p>また、興味を持ってもらうため、関連する事業や話題をコラムとして掲載しました。</p>
		<p>地域型保育事業について。 保育ニーズにきめ細かく対応する事業であり、必要性を感じているが、行政によるきちんとした指導が必要である。 配置基準だけでなく、研修等保育の専門性とそれを支える制度の充実が望まれる。 特に、保育ママやベビーシッター等は、少人数で保育する責任の重さを考えると、フォローアップ体制を強化した方が良いのではないか。</p>	<p>保育ママ担当として、元園長の保育士を配置し、2カ月に1回の連絡会を実施して情報共有を図り、連絡会のない月には区が訪問して状況確認や相談に応じるなどのフォロー体制を実施しています。新制度開始後もこの取組を継続し、居宅訪問型保育等他の地域型保育事業についても、導入の検討にあわせて考慮するようにします。</p>
<b>(5) 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保方策</b>			
<b>3) 放課後児童健全育成事業(学童クラブ)／放課後子供教室(子どもの居場所「プレディ」)</b>			
		<p>学童クラブについての設備・運営の基準が条例化される中、プレディのガイドラインについても再評価した方が良いと思う。 比較は難しいかもしれないが、学童クラブの基準と大きく乖離する点については改善の必要があるのではないか。</p>	<p>事業の目的等は異なりますが、今後より一層の連携に向けて可能な範囲で検討を進めます。</p>
		<p>プレディについて、安全性だけでなく、児童が健全に過ごせる場所としての環境整備、ルール整備をお願いしたい。</p>	<p>プレディは地域の協力を得て実施しており、地域運営協議会などで検討していきます。</p>
		<p>学童クラブを拡大していくのは、スペース・コスト等の面で限界があるように思う。 プレディで対応可能なことを増やし、学童クラブと同程度としていくことが重要ではないか。(開設時間、おやつ提供、その他指導・管理体制等)</p>	<p>学童クラブとの連携を図るため、開設時間の延長や延長利用に係る有料化などの検討を進めています。</p> <p>また、おやつについても、既に3箇所のプレディで保護者の協力により実施しており、未実施のプレディでのおやつ会の立ち上げに向けて支援します。</p>
<b>5) 幼稚園預かり保育</b>			
		<p>幼稚園預かり保育実施園を拡大したり、就労等の事由がある方を優先的に登録できるようにすることにより、保育園需要を減らすことができるのではないか。幼稚園利用者を拡大していくメリットもあると考える。</p>	<p>区立幼稚園は、教育時間帯での教育・保育を希望する就園年齢児を対象とした義務教育前の教育施設であり、標準的な教育時間の終了後に引き続き保育を希望する場合に預かり保育を実施しております。保育所とは事業目的が異なっているため、就労事由による優先登録を行う予定はありません。</p>

## 各委員からのご意見・ご提案

		委員からのご意見	ご意見に対する考え方
		<p>幼稚園預かり保育は拡充なしということだが、本当にそれで良いのか。実施園の拡大・時間の延長等できることはあると思う。また、拡充されれば幼児期の選択肢の確保にもなるのではないか。</p> <p>たとえば、17時まで預かり保育があれば、幼稚園を利用したいと思う保護者もいると思う。</p>	<p>預かり保育実施園の拡大は、施設の増改築に合わせ随時検討していきます。預かり保育時間については、今後検討していきます。</p>
<b>6) 一時預かり保育、子育て短期支援事業(トワイライトステイ)、子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業)</b>			
		<p>Web・電話による予約申込や、キャンセルシステムの構築等、申込・キャンセルフローの見直しが必要ではないか。</p>	<p>今後の取組における参考とさせていただきます。</p>
		<p>一時預かり保育等の実施場所への公共交通機関(江戸バス等)によるアクセスを検討してほしい。</p> <p>それが困難な場合、実施場所を増やし、子育て世帯が多いエリアをカバーできないか。</p>	<p>現在の一時預かり保育実施場所の近隣までは、江戸バス、都バス、地下鉄などの公共交通機関がご利用いただけると考えています。</p>
		<p>ファミリー・サポート・センターの訪問型サービスの検討をお願いしたい。</p> <p>他区では、訪問型サービスを実施しているところもあり、需要があると考える。</p>	<p>ファミリー・サポート・センター事業は、相互扶助の精神に基づき、提供会員がボランティアとして依頼会員のお子さんのお預かりをするものです。そのため、活動に当たっては、お子さんの安全を第一に考え、提供会員が日常生活している慣れた環境で実施することが好ましいと考えております。</p> <p>訪問型サービスにつきましては、どのような条件が整えば提供会員・依頼会員の双方が安心して活動(利用)できるのか、会員の意見も聞きながら検討します。</p>
<b>10) 病児保育事業(病児・病後児保育事業)</b>			
		<p>現在の3施設の枠を増やすのは、コストやキャンセル対応等の面から困難である。</p> <p>自宅でベビーシッター等のサービスを利用した際に、その利用料金を助成するという制度を導入してはどうか。</p>	<p>実施している3施設の利用状況から、現時点でおおむね需要を満たしていると考えております。</p> <p>ベビーシッター等の利用助成については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
<b>(6) 幼児期の学校教育・保育の一体的提供及び推進体制の確保の内容</b>			
		<p>最近では就学前の子どもが過ごす場所が、幼稚園・認可保育所・認証保育所・認定こども園等様々である。それぞれの園に個性や特色があるのは当然だが、ややもすると小学校入学時に一定の差ができることにつながってしまう。</p> <p>幼稚園教育要領と、保育所保育指針の内容をどの程度やれているのかの差が、小学校・中学校・高等学校と上に行けば行くほどどんどん広がってしまうという恐れもある。</p> <p>教育・保育の量だけではなく、質の問題についても並行して取り組む必要がある。</p>	<p>保幼小連絡会の活用により、教員・保育士の指導力の向上、保・幼・小の連携強化を図り、その成果を保育所・幼稚園、小学校それぞれの現場での実践に生かすことにより、就学前の子どもに対する教育の質の確保・充実や小学校への円滑な接続を図っていきます。</p>
		<p>幼児期の学校教育・保育の提供に関しては、「ソフト面の充実を図る」とあるが、具体的にどういうことか。</p>	<p>教員・保育士の指導力向上のための各種研修会の開催やカリキュラムの作成、保・幼・小の連携強化に向けた保幼小連絡会の内容の充実を図り、その成果を保育所・幼稚園、小学校それぞれの現場での実践に生かすことにより、就学前の子どもに対する教育の質の確保・充実や小学校への円滑な接続を図っていきます。</p>
		<p>「ソフト面の充実」の内容のひとつとして、教育の質の確保・充実について表記する必要があると考える。</p>	<p>計画上表記するようにします。</p>

## 各委員からのご意見・ご提案

		委員からのご意見	ご意見に対する考え方
		教育内容の充実につながるものとして、カリキュラムの共有や授業等を互に見学するなどの人的交流を掲げてはどうか。	教育委員会にて幼小接続における教育のための「中央区幼稚園アプローチカリキュラム」を作成し、各幼稚園において実践するとともに、各保育所・認定こども園にも配布し、活用してもらっています。 また、保幼小連絡会の地区別研修会において、幼稚園・小学校の公開保育・公開事業、保育園の公開保育の取組を行っています。
		また、教育会(校園長会が主催する教育分野別の各種研究テーマの研究会)の取組を参考にしながら、教育・保育の推進に関する体制の確保について考えてはどうか。	保幼小連絡会等で教育会の取組や研究成果をとり上げるなど、対応について検討します。
		乳幼児人口増や保育所増により、保・幼・小の連携においても新たな課題が出てきているので、校長・園長等それぞれの立場を踏まえ、それに対する共通認識を持つようにできるといい。	保幼小連絡会等において課題を共有するなど、共通認識を図れるよう対応していきます。
		園庭や水遊び場所のない保育所に対し、幼稚園・小学校が園庭・校庭開放やプール貸出の対応を行うことはできないか。	幼稚園・小学校が授業や休み時間で使用する以外の時間帯を、保育所の外遊び等の時間にあわせるといった対応は、保育所数が増加していることもあり、調整は難しいと考えますが、引き続き検討していきます。
		国の基本指針に比べると、内容が大変弱い。 現状から強化されているようにも見えないし、年2回の連絡会と年1回の合同研修会だけではいかにも弱いと感じる。	連絡会や研修会の内容充実、各保育所にも配布している幼稚園アプローチカリキュラムの内容の精選と改訂、保護者向け子育て支援リーフレットの改訂など、より一層の充実に向けて取り組んでいきます。
<b>5. 子ども・子育て支援に関連する施策の取り組み</b>			
<b>(1)産後の休業及び育児休業後における教育・保育施設等の円滑な利用の確保</b>			
		1歳児クラスからの定員確保を加速させるべき。 0歳児クラスの定員を少しでも1歳児クラスにシフトし、それを積極的に周知していくことで、安心して育児休業を満了まで取得できる方や延長できる方が増えると思う。 ただし、新規園の5歳児クラスの空きを利用して1歳児の定員を拡大するのは、保育士に負担がかかり、最終的に子どもにしわ寄せがくるのではないかと懸念している。	平成26年度の新規開設園において、0歳児の定員を設けず、1歳児クラスからの定員確保を実施しています。27年度開設園でも、園によっては同様の対応をとる予定です。 また、5歳児クラスの募集をせず、1歳児クラスの枠を増やす措置については、認可基準に沿ってそれに対応できる保育士を配置しています。
<b>(2)子どもに関する専門的な知識及び技術を要する支援</b>			
<b>3)障害児施策の取組</b>			
		早急に私立認可保育所での発達に関する巡回相談を実施するとともに、発達の連続性を考慮し、福祉センターと教育センターが連携した支援体制を構築できるよう、人材確保に努めてほしい。	私立保育所における相談は各園対応となっていますが、子ども発達支援センターの事業展開の中で対応できるよう、検討を進めます。
		教育センターの相談員による発達に関する巡回相談・指導は、現在幼稚園のみで行われていると認識しているが、保育所に対しても行われているのか。	区立保育所では行われています。私立保育所に関しては各園対応のため、子ども発達支援センターの事業展開の中で対応できるよう、検討を進めます。

## 各委員からのご意見・ご提案

		委員からのご意見	ご意見に対する考え方
<b>計画の通称名(案)</b>		中央区こどもスマイルプロジェクト	検討させていただきます。
		中央区こどもえがおプロジェクト	
		中央区こどもすくすくえがおプラン	
		中央区こどもすこやかえがおプラン	
		わくわく子育て ～みんなで育てる未来の力～	
<b>会議の通称名(案)</b>		中央区こどもえがお会議	検討させていただきます。
<b>子ども・子育て支援事業の体系図(案)</b>		「働く保護者の子育て支援を充実します」、「すべての子どもの健やかな育ちを支援します」、「特に配慮を必要とする子どもと家族への支援を推進します」と3つの方向性が示されているが、子ども目線か親目線のどちらかに方向性を統一させてはどうか。	方向性を「すべての子どもの健やかな育ちを支援します」「すべての家庭の子育て支援を充実します」「地域の中で、家庭の子育て力を高めていけるよう応援します」に改め、子ども自身のための「子育て」、保護者の立場での「子育て」、親も子育てを通じて成長する「親育ち」の3つの狙いを織り込みます。
		働く保護者への支援だけではなく、専業主婦世帯への配慮があった方が良くと思う。	「働く保護者の子育て支援を充実します」を「すべての家庭の子育て支援を充実します」に改め、家庭で子育てをする人の支援にも取り組めます。
<b>その他</b>	<b>計画全般</b>	地域住民、子育て当事者、そして各関係機関の方々との情報交換、情報共有を通じて、横の連携を作り上げていく地域の力を皆で育てていけたらと思う。	地域全体での子育て支援を重要なポイントとして計画に反映させます。
	<b>保育時間について</b>	新制度移行にあたって、保護者への情報提供を早めにお願したい。	新制度の区民への情報提供については、PRパンフレットの配布、区ホームページ、区のおしらせ、説明会開催により対応します。
		保育利用時間は人それぞれだと思うが、利用時間によって選考の優先順位は調整されているのか。	就労時間など、保育の必要性に応じた調整指数によって利用希望者の順位づけを行っています。新制度開始後も考え方は同様です。
	<b>公立保育園・児童館の役割について</b>	公的制度を守り、地域の拠点園としての役割と責任を果たすために、職員の意識改革を図り、人材育成を強化していく必要があると考えている。 時代とともに柔軟に対応すべきことや、時代が変わっても変えてはいけないことを、子どもの立場に立って主張していくことが大切である。 また、中央区はソフト面での充実に力を注ぐべきである。	重要な点と認識しています。今後の取組における参考とさせていただきます。
	<b>webサイトの立ち上げについて</b>	中央区の子ども・子育てサイトが、今回の新制度導入への理解を深めるツールのひとつとなるかと考える。 区民が任意でスタートすると、各種窓口との連携が図れないというデメリットが生じた事例もあり、できれば区が主体となり、運営委託をする形式が望ましい。	今後の取組における参考とさせていただきます。
<b>子育てフェス(保育園入所受付説明会)の実施</b>	区からの情報発信と各種窓口の負担軽減の一環として、保育園入所受付開始前に全体の説明会を実施してはどうか。新制度導入で申込内容変更が多岐に及んだ場合は、有効かと思う。	11月下旬に開催予定の保育所入所説明会にて、新制度の説明も行います。	